

## 1 はじめに

八代中体研は、稲岡博信会長（第三中学校）のもと18校、計28名で研究を進めている。今年度も「豊かなかかわり合いの中で、主体的に運動に取り組む生徒」を育成していくために、授業研究会や実技研修会、日頃の情報交換等を通して「運動の楽しさが広がる単元づくり」や「効果的なかかわり合いを促す教師の働きかけ」等について協議しながら、授業実践力向上に努めている。

## 2 研究テーマ

「豊かなかかわり合いの中で、主体的に運動に取り組む生徒の育成」

## 3 研究組織

会 長	稲岡 博信	(第三)	
理 事 長	上田 隆弘	(第一)	
副理事長	小野 寿大	(第四)	湯澤 徹志 (第五)
書 記	中満 雄介	(第二)	
会 計	古閑 千愛	(第一)	

## 4 活動状況

8月 第1回運営委員会

【会 場】第三中学校

【内容等】八代教育研究会中学校保健体育部会の授業内容検討

9月 第2回運営委員会

【会 場】第一中学校

【内容等】熊本県研究発表大会紙面発表検討

11月 県中学校体育研究発表大会【芦北水俣大会】

【会 場】水前寺共済会館グレースシア

【内容等】公開授業、授業研究会

12月 第3回運営委員会

【会 場】第一中学校

【内容等】評価規準作成について検討会

1月 評価規準作成

【内容等】作成委員会設置、作成に向けた取組

## 5 研究の概要

主体的に運動に取り組んでいく生徒を育成していくために、八代中体研ではここ数年「豊かなかかわり合い」に焦点を当てて研究に取り組んでいる。

コロナ渦の中、活動に制限はかかってしまうが、生徒が自らの考えを伝え合うことができ、関わり合い、学び合う授業を展開するためには生徒自身が仲間に伝えるだけの知識を身につけておくことが必要

ではないかと考え、グループごとにテーマを決めて調べ学習を行い、まとめた内容を班のメンバーに説明し、知識を深める活動を単元のはじめに行うことで学習が深まっていくのではないかと考えた。

運動の効果（単元の運動を行うことでどのような機能が高まるのか）

運動による障害（可能性のあるけがにはどのようなものがあるか）

練習方法（どのような練習内容があるか、どのような技能を高めることを狙った練習なのか）

など、テーマ担当を決め、調べ、レポートされたものを参考にしてチーム練習の内容を決定していく活動を取り入れてみた。まだまだぎこちなさやまとめ方に差があり、活動内容やコミュニケーションの取り方、学びの深め方に課題はあるが、今後の研究を深めていく価値のあるものだと感じた。



テーマ担当ごとに調べ、  
レポートにまとめる



調べたことをグループに  
説明



調べたことを元に練習内  
容決定の話し合い

まとめ、考えさせる内容の整理や、活用の仕方など、これから授業研究会や実技研修会を通して「仲間と活動する運動は楽しいと感じることができ、わかった、できた、につながる単元づくり」や「効果的なかわり合いを促すための知識の深め方や教師の働きかけ」等について協議しながら授業実践力向上に努め、より深く考え関わり合うことができる授業実践の実現を目指した研究を続けていきたい。

## 6 まとめ

今年度はコロナ禍において授業研究会の実施が困難なため、授業研究を録画し、オンライン研修などの方法を模索したが、実現することはできなかった。

評価規準を作成するにあたり、作成委員会を設けて各先生方の協力により作成することができた。新しい評価規準と、学習構想案を各学校で実践していきながら、今後部会開催の機会が設けられた際には共有し、高めていくことができる体制を整えていきたい。

八代中体研では今後も授業研究会だけではなく、日頃の情報交換も密に行いながら、八代全体の中学生が主体的に運動に取り組み、なおかつ生涯にわたって豊かなスポーツライフを過ごしていくための実践力の育成につなげていきたい。また、多面的な視点から体力や心の健康について学ぶことで、体力の必要性の理解や、運動の効果についての学習を深めていきたい。さらに、保健では健康の保持増進の視点から、体育では、実践的な動きを通して、心と体は一つであることの関連性を双方の分野の特性に合わせて学ぶことによって、深い学びにつなげようとするものであると捉え研究を継続させていきたい。